

科目名	ライブステージ鑑賞 2							年度	2025
英語科目名	Live Stage Appreciation-2							学期	通年
学科・学年	コンサート・イベント科 2 年次	必／選	選※	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	植木敦・鈴木裕大・小保方ひなの 森岡重樹・山下顕治・中里哲也		教員の実務経験			実務経験の職種			
【科目の目的】									
ライブステージを鑑賞し、演出・運営・技術など多角的な視点から分析する力を養います。照明・音響・舞台演出の工夫や、観客の動員・チケット販売の戦略など、実際のライブイベントにおける要素を学び、今後の企画・制作に活かせる知識を身につけます。ステージの魅力を理解し、より良いイベントづくりに必要な視点を養うことを目的とします。									
【科目の概要】									
アーティストの生演奏や講演などを聴き、アーティストおよび周辺も含めたプロの技術を学びます。									
【到達目標】									
A. 自ら積極的にライブ鑑賞に参加し、事前の情報収集や現場での観察を意識しながら学びを深めている。 B. 種類のジャンルの音楽を深く体験し、アーティストのパフォーマンスを詳細に観察・分析し、自身の知見としての確にまとめられる。 C. 1種類のジャンルの音楽を体験するとともにスタッフワーク(照明、音響、舞台、PA)の技術やスキルを現場で体験し知見を得る。									
【授業の注意点】									
積極的に参加してアーティストのパフォーマンスやスタッフワークを鑑賞する事。ライブステージ鑑賞を通じてプロの仕事の現場を理解する為に私語や態度などには厳しく対応する。また、理由のない遅刻や欠席は認めない。ライブ終了後は、感想をまとめて各自今後の自分の実習に活かしてゆく事。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル 5	レベル 4	レベル 3	レベル 2	レベル 1				
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力				
到達目標 A	自ら積極的にライブ鑑賞に参加し、事前の情報収集や現場での観察を意識しながら学びを深めている。	積極的にライブ鑑賞に参加し、演出や運営に興味を持って観察しているが、学びの深さにやや差がある。	指示があればライブ鑑賞に参加し、基本的な視点で観察できるが、自主的な学びの姿勢は弱い。	ライブ鑑賞への参加が消極的で、受動的に観ることが多く、学びにつながる意識が低い。	ライブ鑑賞への参加が不十分で、学びに活かそうとする姿勢が見られない。				
到達目標 B	1種類のジャンルの音楽を深く体験し、アーティストのパフォーマンスを詳細に観察・分析し、自身の知見としての確にまとめられる。	音楽ジャンルやアーティストのパフォーマンスを理解し、知見を得られているが、分析の深さや視点がやや限定的である。	指示に従い音楽ジャンルやパフォーマンスを体験し、基本的な理解はできるが、得られた知見の整理や活用が不十分。	音楽ジャンルやパフォーマンスを体験するが、知見を深める姿勢が弱く、学びにつながる観察ができていない。	音楽ジャンルやパフォーマンスの体験が不十分で、知見を得ることができていない。				
到達目標 C	1種類のジャンルの音楽を体験するとともにスタッフワーク(照明、音響、舞台、PA)の技術やスキルを現場で体験し知見を得る。	音楽ジャンルやスタッフワークを体験し、基本的な技術やスキルを学ぶことができるが、対応力や知見の深さにやや差がある。	音楽ジャンルやスタッフワークの基礎的な体験ができるが、実践的な技術やスキルを身につけるには指導やサポートが必要。	音楽ジャンルやスタッフワークの体験はあるが、技術やスキルの理解が浅く、現場での対応に課題がある。	音楽ジャンルやスタッフワークの体験が不十分で、技術やスキルに関する知見が得られていない。				
到達目標 D									
到達目標 E									

【教科書】							
特に無し							
【参考資料】							
【成績の評価方法・評価基準】							
*参加状況を見て評価する。							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。							
科目名		ライブステージ鑑賞 2				年度	2025
英語表記		Live Stage Appreciation-2				学期	通年
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ステージ鑑賞①	ステージ研究	1	特別講義の内容発表	授業対象講義の意義がわかる	3	
			2	課題発表	課題の意義がわかる		
			3	課題・講義内容の理解	課題・講義内容の理解できる		
2	ステージ鑑賞①	ステージ研究	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う		
3	ステージ鑑賞②	ステージ研究	1	特別講義の内容発表	授業対象講義の意義がわかる	3	
			2	課題発表	課題の意義がわかる		
			3	課題・講義内容の理解	課題・講義内容の理解できる		
4	ステージ鑑賞②	ステージ研究	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う		
5	ステージ鑑賞③	ステージ研究	1	特別講義の内容発表	授業対象講義の意義がわかる	3	
			2	課題発表	課題の意義がわかる		
			3	課題・講義内容の理解	課題・講義内容の理解できる		
6	ステージ鑑賞③	ステージ研究	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う		
7	ステージ鑑賞④	ステージ研究	1	特別講義の内容発表	授業対象講義の意義がわかる		
			2	課題発表	課題の意義がわかる		
			3	課題・講義内容の理解	課題・講義内容の理解できる		
8	ステージ鑑賞④	ステージ研究	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る		
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う		
9	ステージ鑑賞⑤	ステージ研究	1	特別講義の内容発表	授業対象講義の意義がわかる		
			2	課題発表	課題の意義がわかる		
			3	課題・講義内容の理解	課題・講義内容の理解できる		
10	ステージ鑑賞⑤	ステージ研究	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る		
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う		
11	ステージ鑑賞⑥	ステージ研究	1	特別講義の内容発表	授業対象講義の意義がわかる		
			2	課題発表	課題の意義がわかる		
			3	課題・講義内容の理解	課題・講義内容の理解できる		
12	ステージ鑑賞⑥	ステージ研究	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る		
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する		

			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
13	まとめ	研究まとめ	1 感想のまとめ	ステージを見て何を感じたかまとめる		
			2 演出について	演出について考える		
			3 報告書作成	活動の振り返りを行う		
14	発表	発表	1 報告作成	活動の振り返りを行う		
			2 体験共有①	実績を整理し発表		
			3 体験共有②	自分以外がどう感じたのかを知る		
15	振り返り	総括	1 振り返り	活動の振り返りを行う		
			2 改善点	チームで話し合い改善点を出す		
			3 これから	これからの音楽業界について考える		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他						
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考 等						